

一進一退する激しい痛みを耐え漢方免疫増進治療で
ほぼ完治された患者さんの手記

「リウマチ性多発筋痛症手記」 野田博一 65歳

2015年1月28日

「リウマチ性多発筋痛症」の治療経過

介護3、目の離せない高齢の母を見ながら自分の健康を戻そうとし落ち着いて手記はなかなか書く事が出来ませんでした。以下、発症からほぼ治癒までのあらましです。

2009年9月初め

朝、目覚める前に、腰から足先に掛け激しい痛み。目が覚めてしまいベッドから起き上がると夢だったのかの様に何ともない。それも毎朝ではない。しかし、よほど苦しいのか布団がベッドから落ちている。近くのペインクリニックで診察を受けても症状が出ていないからどうしようもないと言われた。毎朝ではないが其の症状もしばらく続いたがいつの間にか消えた。

年が変わり2010年

3月1日、目が覚めると激しい痛み。ペインクリニックで坐骨に神経ブロックの注射。少し楽になる。何度か同じ事をしたが、3月27日、目が覚めると体が動けない。何とか起き上がったものの着ているパジャマ脱ぐことが出来ない。今までとは違う全身激しい痛み、ドアのノブに手が届かない。下の階への階段を下りるのが非常に困難。難儀をしてペインクリニックへ行く。ステロイドを飲み良くなればリウマチ性多発筋痛症です。と言われ10ミリグラムを処方され、量を減らしていけば治るといわれた。ステロイドと聞いた事は有るが、どういうものか考えたこともなく自分が飲む事になるとは思ってもいませんでした。パソコンで見てもステロイドで簡単に治ると書いている人も数人居ました。3日目には全く痛みなく素晴らしい薬で治ってしまうと思ってしまう。そのまま薬は続け、4月14日に8ミリグラム、21日に7ミリグラムと減らしていきました。5月8日強く激しい痛み。様子を見ても変わりなく痛み続く為28日より20ミリグラム。2週間事に2ミリグラム減らして行き8月6日には10ミリグラムまで減らすことが出来た。それもしばらくの間で8月21日には全身の強く激しい痛み、痛み止めを飲むと楽になる。9月18日には20ミリグラムに戻した。今度はなかなか痛み取れず9月28日になり痛み軽くなってきた。その後痛みが出たり消えたりと続くが薬を減らすと痛みが出る。また増やして減らしていくが12ミリグラムまで減らすと痛みが出てくるようになった。2011年はそんなことの繰り返しで、何時まで続けるの

か不安になり担当の先生に相談するも血圧や、血糖値が上がっていないか、視力は何ともないかといわれる。異常がないのでもう少し続けようといわれる。

2011年

痛みが出たり消えたり12～15ミリグラムの間を減らすことが出来ない。10月頃になると痛みが出て消えなくなって来た。

2012年

リウマチ性多発筋痛症を書いている人の文章を見て進んでゆく内、松本医院の事が分り担当の先生に相談すると一度いかれてはどうか、と言われ6月19日松本医院を受診したのがステロイド離脱から完治の始まりでした。6月19日受診した日から補中益気湯、大防風湯、ベルクスロン錠 400mgを処方され、前日12ミリグラムのステロイドを10ミリグラム、翌日から半分と減らし7月3日には飲まない事になりました。

7月5日痛みが強く出始める。

7月8日朝、痛み全くない。

7月8日午後、膝激しく痛み、両腕全く上げられない。

7月10日自分で車運転最後の日、松本医院へ行くもハンドルやクラッチレバー操作非常に困難。駐車場へ何とか止めても車の乗り降り非常に困難。松本医院の階段の上り下り非常に苦しい。帰ってからは駐車場が家から700m有り家にたどり着くのが困難を極め5～6分で帰れる所30分以上かかりました。その日から、38度5分前後の熱が出て激しく強い痛み、夜はトイレが近くなり季節も真夏の為か大汗をかき、全身が痛みと力が入らない為寝返りをする事も出来ず固まった状態で寝ている、その様な症状が年末まで続く始まりでした。その後、週に一度松本医院に診察と鍼灸の治療に通う為従兄弟が、要介護3の91歳の母と私を車の乗せ母をデイサービスへ連れて行きその後松本医院へ送り迎えを2012年7月から2013年11月まで毎週してもらったお陰で後もう少しで完治と言う所まで来ました。

その間、松本医院の直ぐ近くに温泉を使用した施設が出来ているからと連れて行ってくれました。その時はまだ体が強張り膝を曲げることが困難な時期でしたが、広い浴槽で従兄弟が居てくれたお陰で半年ぶりに湯船につかることが出来ました。痛みが出た7月からはシャワーだけで体を温めることが困難でした。暖めることは大きな効果でその夜には酷く浮腫んでいた足が殆ど元に戻っていました。しかし、その時だけで朝には元の酷い浮腫みが出ていました。症状は一進一退で住んでいる近くにも同様の施設がありバスに乗り通いました。

2013年

徐々に効果は現れ、この調子では2013年5月からは自分で運転が出来るかと思われましたが、そう簡単ではなく10歩進み9歩後退、5歩進み1歩後退と一進一退の不安定な症状が続き自信がついたのは、半年遅れ2013年11月1日より自分で車を運転できるまで回復はしました。11月から松本医院へ自分で運転をして診察に行くことが出来るまで回復しましたが、体の滑らか

な動きの運転は2014年5月を過ぎてからでした。その時分でも、まだ横断歩道を渡っていて急に小走りに渡り切ろうとしても足が動きません。2012年10月頃より体を早く元に戻そうと歩き始めましたが体が歪んでしまったのか上手く歩けません。往復1km歩くのがやっとでした。気持ちは有っても指先が激しく痛み靴を履いていることも出来なくなります。履き慣れた靴なのに左足親指爪血豆が出来、爪が剥がれた事3回。右足親指1回。体の歪みか左足指先靴底穴が開く事4回。右足も同様ですが、右足は左とは違い靴底に穴が開く事は有りません。両足の指先や足の裏力の入れ加減がコントロールできないのか水疱が多く出来破れ歩きにくい。

2014年10月20日

何時も通り歩いている体が軽く感じられもう元に戻ると言う実感が始めて得られました。今までは10歩進み9歩後退、5歩進んでは1歩後退のような状態が多く、良くなったと思えば強い戻りが有りましたがそれも殆どありません。今は17kmを2時間25分程度に歩け痛みも肉刺(マメ)も出来なくなり本来の自分はかなり近づきました。血液検査の状態も非常に良いと言われていいますが、未だに左手薬指と小指が握りきれません。左手は持っているものを落とす事多く細い紐結びにくい。ハンドグリップ強を右手は100回、左手は50回余りしか出来ません。10kの米袋右手は袋の端握って提げられますが、左手全く上げられませ。ペットボトルの蓋が開けられなかった事を思うと良く戻ったものです。体調は殆ど戻り調子よいと思っていると、思い出したように強い刺すような痛みが両足指先やその周りに数秒突然おきる。

2014年

12月31日の夜に、2012年8月に右肩甲骨回りに数回起きた鋸かカッターナイフで切られている痛みが感じられる。2012年8月だけ激しく強い痛み出たがその後はその様な痛み出ていない。2015年、年が明けてから痛み強くは無いが何回も感じる。2013年の5月には車を運転できると思っていたのが、半年遅れの11月になり、実際に滑らかな運転は2014年の5月に入ってからで、体がもう元に戻ると言う実感が得られたのは2014年10月20日でした。

全て自分の思いの半年遅れの様に感じますが、完治もう目の前で遅くても秋までには発病前以上の健康体に成っていると思います。

発症からほぼ治癒までのあらましです。松本医院に行った日から毎日の症状の移り変わりの状態を書きとめたものを整理し後日提出しようと思っています。人それぞれ個人差もあり感じ方や捕らえ方も違いますが、同じ「リウマチ性多発筋痛症」の方の完治までの目安になればと思います。思い付いた事を書いてしまい前後乱れたつたない文面でご容赦ください。